



今年度は「地域コミュニティ力を高める」をテーマに、住民同士の繋がりをより強く意識しながら災害に備えていきたいと考えております。ご協力のほど宜しくお願いいたします。

なお、3月20日に開催された自主防災組織総会で下記の本年度役員が承認されました。

防災長：並木宏之（南8） 副防災長：井元政二郎（中央13） 防災幹事：村岡哲郎（情報部会 南5）、八代美代子（ひなん支援部会 南6）、阿部真庭（訓練部会 中央6） 会計：市川 厚司（中央7）、安部辰美（南9） 書記：丸山美知江（北11）、保坂和子（北9）

防災訓練（2016.6.4）のお知らせ

日時 6月4日（土曜） 9：30～11：30

場所 広岡交流センター1階ホール（災害対策本部設置）

対象 桜ニュータウン全住民。事前申し込み不要。雨天決行。

（当日の訓練内容）

8：30～ 広報車にて訓練のお知らせが行われます

9：30 大地震発生！！

（全住民）自分と家族の安全が確認できたら

- ① 黄色いハチマキを、玄関近くの道から見える場所に巻き付けてください
- ② 携帯メールが使える方は、災害対策本部（以下、本部と略）宛に安否情報を送信してください。 ※詳しくは裏面を参照のこと。
- ③ 余裕がある方は、本部活動（各種防災訓練）を行うために交流センターへ集まってください。

（班長）①地震発生後10分経ってから（9：40から）班内の黄色いハチマキが出ている家を確認し、交流センターに向向いて本部の安否確認班に“ハチマキ情報”（自分の班名と黄色いハチマキが出ていた世帯名）を報告してください。
※ハチマキ情報は、回覧板用に使っているチェック表に記録すれば便利です。
※班長が不在の場合は、前班長（または前々班長）が報告してください。
※本部（snt_bosaihq@smacon.info）宛にメールで連絡しても結構です。

（本部への協力が可能な方全員）

交流センターに集合すると、総合受付を済ませた後、担当作業が割り当てられます。

※今年は子ども達向けの訓練もあります。子ども会の皆さんも奮ってご参加を(^)/

（裏面につづく）



(表面からのつづき) 交流センターに集まって、下記の作業班に分かれて訓練を行います。

機材確認・・・集まった人たちに対し、防災用機材の取り扱い説明を行います

安否確認班・・・黄色いハチマキやメールによる住民からの安否情報のとりまとめ

初期消火班・・・水消火器による消火訓練

被害確認班・・・ニュータウン内の被害情報確認訓練

救出救護班・・・車いす、リヤカーを用いた救出・避難訓練など

給水班・・・自家発電機による給水訓練

※子どもプログラム・・・防災についてのお話し、防災クイズ大会など

11:30 訓練終了

※携帯メールを用いた安否情報連絡訓練について

(防災メールに登録している方)

地震発生時(9:30頃)に本部から安否確認メールが流されるので、そのメール中の本部アドレス(snt_bosaihq@smacon.info)をクリックし、立ち上がった新規メールの「件名欄」に「班名・氏名・安否」を入力して送信してください。→入力例:「南5 桜南太郎 家族皆無事」
(防災メール登録者で安否確認メールが届かない方または未登録でも携帯メールが使える方)

地震発生後(9:30以降)に、本部(snt_bosaihq@smacon.info)宛に、件名欄に「班名・氏名・安否」(上記の入力例参照)を入れたメールを送信してください。

赤十字減災セミナー(2016.4.16)が開催されました

講師 茨城県日赤の後藤とも子さん、磯部佐智恵さん

参加者 49名(サポーターの方々、ひなん支援部会員、支援希望の家族の方々など)

内容 1 災害が高齢者に及ぼす影響についてのお話

※普段飲んでいる薬は手帳等にメモしておき避難時は持ち出す。離れて暮らす家族にも教えておくことよい。

※高齢者の水分補給に気を使うべき。

避難所ではトイレに困ることが多く、その為に水をとらないで我慢する高齢者が出てきます。すると、血液がドロドロになり、脳や心臓に血栓が詰まり、大変なことに!

2 車椅子の動かし方、担架の組み立て方や運び方等の実習



桜ニュータウンの防災員として、あなたを必要としています!

※防災員としてご協力をお願いします。協力いただける方は、下記宛にお名前と班名、メールアドレス(あれば)をご連絡いただきますようお願いいたします。お待ちしております。

(連絡先) 防災長 並木宏之(南8班 自宅 857-5923)

または 自主防災組織本部宛メール snt_bosaihq@smacon.info